



輝き



令和4年4月7日発行 三木市立三木特別支援学校

春のうた

春爛漫。満開の桜が新学期のスタートを応援するかのよう
に春風に揺れています。

お子様のご進級、ご入学おめでとうございます。心より
お喜び申し上げます。

私こと

4月1日三木特別支援学校 校長として着任いたしました。
令和2年4月に教頭として着任以来3度目の春を迎えること
になります。微力ながら全力を尽くす所存でございます。
どうぞ、よろしく願います。

さて、本日、学校に子どもたちの声と笑顔が戻ってまい
りました。掲載している草野心平さんの「春のうた」の詩と
相通じるものを感じます。

長い冬眠から覚めた一匹の蛙が初めて地上にでて、日
光、水、風、匂い、風景という順に外界に接していく。この
蛙の五感の高まりと春を迎えることができた喜びが、4回も繰り返される「ほっ」や「ケルルン クック」という鳴き声にあらわされています。

現在の社会状況下でも、元気で笑顔いっぱいの子どもたち。春季休業前と比べ少し成長して登校してきた在校生、新しい学校生活への希望いっぱいに入學してきた新入生ひとりひとりの喜びや様々な関わりを通して成長していく姿と重なります。学校という集団の中で毎日楽しく生活でき成長していけるよう指導・支援に取り組んでまいります。

学校教育目標「一人一人が『輝き』、『主体的』に活動する児童生徒の育成」を念頭に、本年度の教育活動のテーマを「Open(オープン)Share(シェア)そして Team(チーム)」としました。子どもたちの「伝わった」「できた」「のびた」、そして「今日も学校が楽しかった」を実感できる学校創りに全教職員心ひとつに努めてまいります。保護者の皆様、関係機関等の皆様とともに「Open Share Team」でともに前に進めていけることを願っております。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(校長 佐野 順子)

春のうた

草野心平

かえるは冬のあいだは土の中にいて
春になると地上に出てきます。
そのはじめの日のうた。

ほっ まぶしいな。
ほっ うれしいな。

みずはつるつる。
かぜはそよそよ。

ケルルン クック。
ああいにおいだ。
ケルルン クック。

ほっ いぬのふぐりがさいている。
ほっ おおきなくもがうごいてくる。

ケルルン クック。
ケルルン クック。

